

令和3年度 社会福祉法人五倫会 自己評価・施設関係者評価

1. 本園の教育・保育目標

- ・健康で美しい心
- ・礼節を尊ぶ素直な心
- ・創造力のある豊かな心
- ・たくましく進取の心
- ・いたわりのある優しい心

2. 本年度取り組む重要事項

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止をはじめとした安全衛生管理の徹底

- ① コロナ禍でも実施できるような行事等の計画立案
- ② 子ども達の学びが損なわれないような教育・保育の提供。
- ③ しっかりとした話し合いの中で計画書が作成され、毎日の活動が計画をもとに行われているか。

3. 具体的な目標及び計画

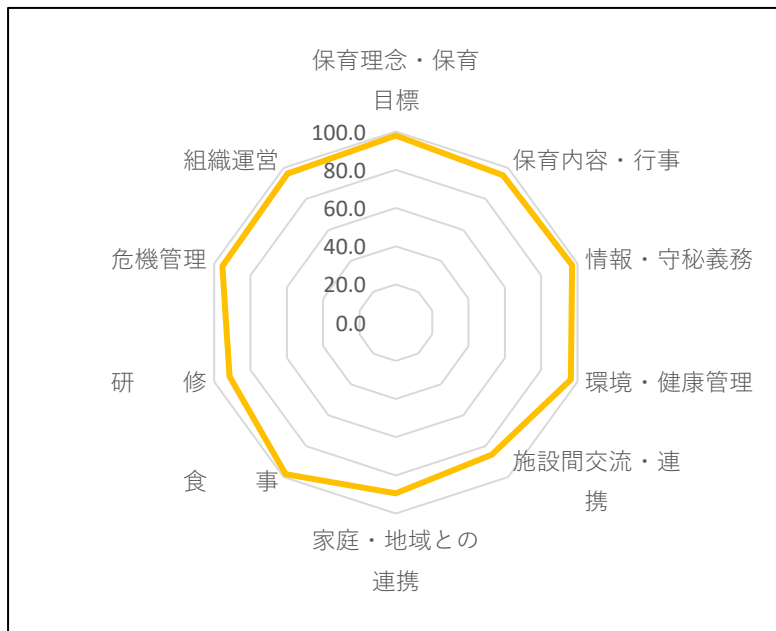
認定こども園法の内容を再度確認し、研修への参加、園内研修の充実、職員の共通理解を深め、教育・保育の質の向上を図るとともに、保護者理解や地域との繋がりがより向上できるよう園が担う役割について検討する。

4. 自己評価結果に対する関係者評価（5段階評価）

5…よくできている 4…概ねできている 3…どちらともいえない 2…やや改善が必要 1…出来ていない

評価区分	内 容	美郷	中郷	評定	意 見
保育理念・保育目標	保育理念が明文化されているか。	4.88	5	4.94	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度の反省を踏まえ目標を設定している。 ・コロナ禍で、参観日や後援会、保護者会等の機会が少なく、保護者の方に園の意図する点を伝える機会が減った。 ・各部署にも掲示している。 ・会議等でも共通理解されている。 ・周知しているが保護者が理解しようとしていない。 ・年度末に話し合っている。
	保育理念が職員に周知されているか。	4.85	5	4.92	
	保護者に対し、保育理念や保育方針が周知されているか。	4.77	4.85	4.81	
	保育目標は具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。	4.85	5	4.92	
	目標は施設や地域の特色を活かしているか。	4.73	5	4.87	
	目標は、前年度の反省を反映しているか。	4.77	5	4.88	
	目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。	4.85	5	4.92	
保育内容・行事	指導計画は乳幼児の実態に即して作成されているか。	4.92	5	4.96	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中でも様々な工夫や感染対策をし、出来る限り行事を実施できたことで、保護者の方にお子様の成長を見ていただくことができ、とても良かったと思う。 ・どの行事も工夫して子ども達も楽しんでいと思う。 ・コロナの影響で自然や社会と関わる機会が減った。 ・行事の前後は特に物が散らかってしまうので気を付ける。 ・毎年行っている行事でも、その都度話し合いの場を備え、みんなで確認しながら進めたい。 ・もっと事例を上げる時間が作れるように工夫したい。 ・8時から保育・教育時間開始がマンネリ化しているので、子ども達の経験や発見を大切に保育を心がける。
	計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。	4.73	5	4.87	
	保護者の願いや意見を取り入れているか。	4.85	4.54	4.69	
	一日の流れ（デイリープログラム）は現行でよいか。	4.65	4.85	4.75	
	子どもの基本的な生活習慣を身につけるため積極的に環境整備しているか。	4.54	4.85	4.69	
	様々な表現活動ができるように配慮しているか。	4.62	5	4.81	
	身近な自然や社会との関わりが持てるような取り組みをしているか。	4.54	5	4.77	
	遊びや生活を通して、人間関係が育つように配慮しているか。	4.73	5	4.87	
	環境の構成を意識した保育や課程を常に工夫しているか。	4.54	4.54	4.54	
	評価結果を基に、保育の改善に努めているか。	4.54	4.85	4.69	
	行事の種類や実施回数は適切か。	4.62	4.85	4.73	
	行事のねらいを計画や実施に十分活かしているか。	4.69	4.85	4.77	
	乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。	4.65	5	4.83	
情報・守秘義務	乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。	4.92	5	4.96	<ul style="list-style-type: none"> ・交流は少なかったが、オンラインの活用により、会議などはできた。 ・周知が行き届いていない時がある。 ・掲示物を一か所にまとめた方がいい。
	子どもの個別記録は、個人情報保護法に基づき管理しているか。	4.92	5	4.96	
	保育業務で知りえた子どもの家庭に関する秘密の保持について、全職員に周知し、守られているか。	4.81	4.85	4.83	
	掲示板、掲示場所を適切かつ効果的に活用しているか。	4.69	5	4.85	
	各記録は、適切な時間・方法で作成・処理しているか。	4.46	4.85	4.66	

評価区分	内 容	美郷	中郷	評定	意 見
環境・健康管理	施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	4.73	5	4.87	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な対応が必要とされる場面で新しいマニュアルや会議などを行ったことと何とか対応できた。 ・コロナ対策など会議をしている。
	遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。	4.38	5	4.69	
	園内の清掃がなされているか。	4.73	5	4.9	
	健康・安全な生活に必要な習慣や態度の育成のため、保護者に情報を発信しているか。	4.85	4.54	4.69	
	感染症などを予防するマニュアルがあり、職員に周知し実行しているか。	4.81	5	4.9	
	感染症に関する会議を行い、職員全員に周知しているか。	4.77	5	4.88	
施設間交流・連携	他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に添ったものになっているか。	4.42	4.54	4.48	<ul style="list-style-type: none"> ・他施設との交流はできていない部分が多かった。終息したら子ども達が楽しめる活動をしたい。 ・小学校の統廃合が原因で小学校との交流が減ったのは残念だ。 ・コロナの様子を見ながら対応はしていると思う。
	他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で乳幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。	4.23	4	4.12	
	保育者同士が、打ち合わせや事前研修・合同研修を行い、互いの保育・教育に対する理解を深め、援助について共通理解を図っているか。	4.35	4.5	4.42	
	参観や保育・授業等に参加するなどして、小学校の教育を理解しているか。	3.58	4	3.79	
	日常的に情報を交換し、交流活動に活かしているか。	4.12	5	4.56	
家庭・地域との連携	行事等で保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。	3.81	3.76	3.78	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で出来なくなった部分もある。 ・4月に年間計画を配布している。 ・コロナが終息したら参観日や懇談会、面談を例年通り実施したい。
	乳幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。	4.08	3.76	3.92	
	地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。	3.81	4	3.9	
	送迎の際の対話や連絡事項への記載などの日常的な情報交換に加えて、別に機会をつけて相談に応じて個別面談を行っているか。	4.65	5	4.83	
	家庭の状況や保護者との情報交換が、必要に応じて、関係職員に周知されているか。	4.85	5	4.92	
	保育士は日常、保護者や子どもの様子に注視し、虐待の予防や早期発見に努めているか。	5	5	5	
	あらかじめ年間行事の目標を知らせ、保護者が保育参加の予定を立てやすくしているか。	4.88	5	4.94	
食 事	食事を通して、子ども達が楽しく食べ、意欲を持てるように工夫しているか。	4.77	4.85	4.81	<ul style="list-style-type: none"> ・園全体でアレルギーに対して確認をしている。 ・畑で採れた野菜を使ったクッキングなどでは子ども達が興味を持って食べている。 ・アレルギー対応として食器の色分けをしている。
	アレルギー疾患などを持つ子に対し、主治医からの支持を得て適切な対応を行っているか。	4.96	5	4.98	
	間違えないよう、個別にわかりやすく区分して栄養士、調理員同志や保育士と確認しているか。	4.88	5	4.94	
研 修	研修会・講習会への参加体制の充実を図っているか。	4.69	4	4.35	<ul style="list-style-type: none"> ・研修に積極的に参加している。 ・コロナの影響で出来ない研修もあった。
	研修に参加する際には、自分自身が学べることを考えてから参加しているか。	4.65	5	4.83	
	研修の成果を日常の保育に活かし、乳幼児の発育に反映させているか。	4.58	4.54	4.56	
危機管理	避難訓練・交通安全指導を行い、計画に基づいて適切に実施しているか。	4.5	5	4.75	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関の開業時間または休業日などの再確認をして掲示してほしい。
	不審者などに対応する周知な配慮を行っているか。	4.62	5	4.81	
	緊急時、慌てずに対応できるように、医療機関の連絡先を表示しているか。	4.5	4.85	4.68	
	乳幼児の安全を図るため、家庭・地域社会・関係機関と連携を図っているか。	4.73	5	4.87	
組織運営	係りや仕事の分担・役割は適切であるか。	4.73	5	4.87	
	職員相互がそれぞれに全体的立場を理解し、協力や助言を惜しみなくこども園の運営に活かしているか。	4.65	5	4.83	
	職員の意見を聞いたり、話し合う機会を定期的に持っているか。	4.54	5	4.77	



分野別評価点 (100点満点)			
評価区分	美郷	中郷	結果
保育理念・保育目標	96.3	99.6	97.9
保育内容・行事	93.3	97.4	95.3
情報・守秘義務	95.2	98.8	97.0
環境・健康管理	94.2	98.5	96.3
施設間交流・連携	82.8	88.2	85.5
家庭・地域との連携	88.8	90.1	89.4
食 事	97.4	99.0	98.2
研 修	92.8	90.3	91.5
危機管理	91.7	99.3	95.5
組織運営	92.8	100.0	96.4

5. 園経営反省点

・コロナ禍による行事や活動の見直しをしながら、園運営をしてきたが、1月以降の青森県内感染状況が落ち着いた見せず、行事の延期や中止が相次いだ。特に地域や施設間の交流はほとんどできず、代わりにリモート会議などの手法を使った交流が主軸となった為、子ども達にはもっと経験させられたであろうと思うことも多くあった。また、クラスを分けての活動が多くなった為、異年齢児の交流もほとんどなく、小さい子ども達に接する機会が多く取ることができなかったのは非常に残念だ。しかし、現在の状況下では致し方ない判断であったとも考えている。また、研修に関してはリモートによる研修に参加はしたものの、リモートでの研修の欠点である熱量が伝わって来ない点や講師の一方的な語りだけの研修に戸惑うことも多くあった。しかし、保育の合間に行えるという利点を活かし、多くの研修に参加できた。今後もコロナウイルスはなくなることはないであることを踏まえ、状況に応じた判断をし、職員と密に会議を設けることで今後も園運営経営に精進していきたい。

6. 今後の取り組み課題

- ・保育者同士が声を掛け合い、意見交換や役割分担をしっかりと行った中で、子ども達一人ひとりの発達を促す為に全員が同じ方向を向き保育をしていく。そのためにも、会議の回数を増やしていきたい。
- ・16時以降の業務に負担がかかっている。玄関での対応がしっかりできない事があるので保護者との関係を密にし、情報交換を図る。
- ・コロナ禍でできる範囲は行事ができたと思う。その中で新たな発見もあったので、これから活かしていきたい。
- ・新型コロナウイルスにより、色々な行事が中止、変更になったが、状況に合わせて今後も話し合いと工夫をしていけたらいいと思う。
- ・リモートなどのICTを活用した交流、または状況を見ながらの交流活動の充実を図る。
- ・研修の機会を職員に発信し、参加を促す。
- ・大きなケガにならないように保育室に危険な場所は無いか日々気を付けながら子ども達を見守っていく。

7. 施設関係者からの評価